



一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

スイミングクラブでの初のクラスター発生について

加盟クラブ 各位

「緊急事態宣言」再発令中の1月29日、恐れていたスイミングクラブでの新型コロナウイルスのクラスターが発生してしまいました。北海道は石狩地方・江別市にあるスポーツクラブのジュニアスイミングのクラスで、このクラスに通っている生徒と家族ら計38人の検査を実施し、小学生を含む生徒3人と見学席を利用していた家族7人の10歳未満～30代計10人の感染が確認されました、いずれも軽症か無症状とのことです。

このクラブのギャラリー（観覧室）は飲食可能なスペースとなっており、見学者が飲料などを口にする際にマスクを外していたことが感染の原因と考えられています。当協会ではプール施設は、多湿環境によりウイルスの感染力を弱め、徹底された塩素消毒による水質管理によって、新型コロナウイルス感染拡大防止には非常に優れた環境であることを社会に発信してまいりました。しかしながら、更衣室や送迎バスなど感染リスクの大きな環境を抱えていることも事実であり、フロントやギャラリー等他の業界と変わることはない感染リスクも抱えています。スイミングクラブでのクラスターの発生は、我々の業界全体が名指しで営業停止要請の対象となり得る重大な危機でもあります。

当協会では現在、緊急事態宣言再発令に伴う内閣府コロナ対策室よりの「業種別ガイドライン」改定の要請をうけて、JASCガイドラインの見直し作業を進めているところです。取り急ぎ、各施設のギャラリー（観覧室）については

- ①観覧室（ギャラリー）内の換気の徹底
- ②マスク着用の徹底および会話の制限（特に大声の禁止）
- ③可能であれば使用禁止とし、子供の送迎などは時間に合わせ来館してもらう（教室の様子を動画でアップする等の工夫で対応）
- ④観覧席は1席空けるなど、観客の間の距離を確保
- ⑤スペースが狭小のため飲食は禁止とする

を遵守して頂き、再発防止に努めて頂くことを要請いたします。

「JSCAガイドライン」は、自施設と業界を守る強力な城壁でもあります。コロナ慣れすることなく、今一度初心に帰り、感染防止対策の見直しと更なるガイドライン遵守の徹底をお願い申し上げます。

以上